

中西別ふれあいセンター

- 所在地 別海町中西別光町38番地1
- 設置者 別海町
- 構造 木造一平屋
- 延べ床面積 386.1m²
- 木材使用量 86.19m³
- うち地域材 80.17m³
- 使用樹種 構造材 カラマツ、トドマツ等
内装材 トドマツ、カラマツ



◆施設の概要

本施設は、中西別地区における町内会活動や各種文化サークル活動の拠点になっており、地域コミュニティの中核をなす施設となっています。今回の改築に伴い、フローリングや腰壁に北海道産木材を使用することで木材の温もりを感じられる施設に生まれかわり、併せて北海道産木材のPRも期待できる施設となっています。

◆工法の特徴

床組みに厚さ28mmの構造用合板を使用し、根太レス工法とする事で水平構面の強化を図り、一般的な「根太床工法」に比べ、地震や台風時に発生する水平力に対して強く、耐震性や耐風性に優れた効果を発揮し、経済性にも配慮した工法となっています。

◆整備にあたり苦慮したところ

設計から、建設完了までを単年度で実施したため、特に設計期間が短く、実際に施設を使用する地域の意見を設計に反映するための時間が少なく、調整作業が難航しました。また、既存施設の増改築工事であり、施設を使用しながらの工事であったため、安全面の確認作業に苦慮しました。